

理科・情報科 指導案

1. 活動場所 理科室
2. 単元名（理科） 「冬の自然」
3. 単元名（情報） 「大阪府について調べよう」
4. 単元目標（理科）
 - ・冬の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察、記録することから生き物を愛護する態度を育てる。
 - ・動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえることができるようにする。
5. 単元目標（情報）
 - ・観察し、記録することができる。
6. 指導にあたって

冬は1年間で最も気温が低く、生き物の暮らしには大きな変化が見られる。この季節にはさまざまな生き物の生活のしかたがよくわかる。いろいろな生き物の多様な過ごし方を観察することから、生き物の生活の巧みさをとらえるようにしたい。

観察したことを見ただけに終わらせず、記録し、まとめ、他の人の記録と比べたり、発表したりすることで、生き物がうまく季節の変化に合わせてたくらしをしていることを実感することができるようにしたい。

千早小は自然にめぐまれた環境であり、大阪市内に比べると平均気温も低いことを生かして子どもたちが五感を通して自然を感じることができるようにも配慮していきたい。

本校の4年生は8名と少ない人数ながら、元気に学習活動を行っている。ただ、以前と比べると自分の体で自然の動物や植物にじかに触れ、感じる機会がへっているようである。小学校の理科学習では自然の観察、実験を学びのスタートに置くものが多いが、なるべく授業の中でそれらを体験することを大切にしていきたいと考えている。

ふだんは意識せずに行っている理科の観察活動であるが、その中に情報を収集・加工・発信していく要素が入っていることを意識して授業を行っていきたい。

7. 指導計画 全4時間（本時：第3時）

時数	内容	準備するもの
第1時	冬の自然(1)寒い冬になって、生き物のくらしは、どうなっているのだろうか？→観察：冬の生き物のようす	観察カード、デジタルカメラ
第2時	(2)植物は、すべて枯れてしまったのだろうか。→観察：冬の植物	スコープ小、虫めがね
第3時	冬の記録を発表しよう <ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べた冬の生き物の発表をする。 ・春から冬までに調べてきた生き 	春から集めた生き物の記録（生き物新聞）

	物のようすについて、話し合おう。	
第4時	はってん <ul style="list-style-type: none"> ・ 葉が落ちたあとの木の枝を、観察してみよう。木の芽は、どんな形をしているかな。 ・ 「冬のビンゴ」づくり 	

8. 本時の目標

- ・ 一年間調べてきた「自分の木」の冬のようすについて写真や図をつかってわかりやすく発表する。
- ・ 友だちの発表を聞き、自分の木とのちがいや同じところに気がつく。

9. 本時の展開

学習活動	支援
1、前時までのふりかえり	
2、自分の調べた「冬の生き物新聞」の発表をする。	・ 冬の季節に生き物の生活に見られる特徴に気がつくようにアドバイスする。
3、自分や友だちの発表を聞いて、冬の生き物の生活のようすに気がつく。	・ 生き物のちがいによって冬の生活にちがいがあることに気付くようにする。
4、学習のまとめ 一年間を通した生き物のようすを話し合う。	・ 春、夏、秋の画像を用意し、それぞれの季節による生き物の生活の変化に気がつくようにする。

御高評欄

冬の生き物新聞

せい作・発行

〇〇 〇〇

千早小学校4年生

見つけたよ！

植物

・ こんな植物がくらしているよ。

・

動物

・ こんな動物がくらしているよ。

・

ほかの季節とのちがい

・	・
・	・